



平成29年12月14日

各 位

会社名 株式会社 銚子丸
 代表者名 代表取締役社長 石田 満
 (JASDAQ・コード3075)
 問合せ先 執行役員管理部長 仁科 善生
 電 話 043-350-1266

第2四半期業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年6月29日に公表した平成30年5月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。通期の業績予想についても修正いたします。

記

1. 平成30年5月期 第2四半期累計期間における業績予想の修正

(平成29年5月16日～平成29年11月15日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	9,467	390	416	231	84円87銭
今回修正予想 (B)	8,960	53	72	42	15円63銭
増減額 (B-A)	△506	△337	△343	△188	-
増減率 (%)	△5.4%	△86.3%	△82.5%	△81.6%	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年5月期第2四半期)	9,387	289	313	182	66円99銭

2. 平成30年5月期 通期業績予想の修正

(平成29年5月16日～平成30年5月15日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	19,549	903	943	552	202円64銭
今回修正予想 (B)	18,386	349	376	140	51円49銭
増減額 (B-A)	△1,162	△553	△567	△412	-
増減率 (%)	△5.9%	△61.3%	△60.1%	△74.6%	-
(ご参考)前期実績 (平成29年5月期)	19,540	923	958	457	167円70銭

3. 修正の理由

売上高については、消費者の強い節約志向に対して、イベントメニューをはじめとした「お得感」を重視した商品開発を進めてまいりましたが、来店客数増に十分な効果がないまま推移したことに加えて、夏期の長期天候不順による客数減により、当第2四半期累計期間（平成29年5月16日～平成29年11月15日）における既存店売上高（注2）が当初見込みを下回ったこと、また、新規出店についても当初計画の上半期2店舗に対し、店舗勤務者の人手不足の逼迫から新規出店が出来なかったことにより、前回発表予想の9,467百万円を506百万円下回る8,960百万円となりました。

利益面についても、売上高の減少に加え、食材全般の不足感による原材料価格の高騰や、労働需給の逼迫に伴う人件費の増加、既存店強化を目的とした改装に係る修繕費の増加などが影響し、営業利益及び経常利益ともに前回発表予想を下回る結果となり、四半期純利益は前回発表予想の231百万円に対して42百万円となり差異が生じました。

今後も引き続き既存店売上高は厳しい状況が見込まれること、原材料価格の高止まりや人件費の増加に加えて、店舗勤務者の人手不足対策としての機械化・省力化の推進に係る設備投資等の利益押し下げ要因の増大が見込まれます。

また、期初に予定していた通期3店舗の新規出店が1店舗に留まる見通しであること等から、通期の業績予想についても修正いたします。

(注1) 上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(注2) 当社において既存店売上高は、開店の日を含む月から13カ月以上経過した店舗を既存店として算出しております。なお、改装等による休業日がある場合、当該日を含む月は除外して算出しております。

以上